

愛媛県版まち・ひと・しごと創生総合戦略 新旧対照表

(地方創生拠点整備交付金部分のみ)

改 正 後	改 正 前
<p>第2 目指すべき将来の方向性と具体的な施策</p> <p>1 基本目標① 地域に働く場所をつくる・人を呼び込む</p> <p>(1) 産業力の強化と成長産業の育成</p> <p>①～⑥ (略)</p> <p>⑦ 農林水産業の成長産業化に向けた支援</p> <p>《取組みの方向性》</p> <p>(略)</p> <p>《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》</p> <p>(力強い農林水産業を支える担い手の確保)</p> <p>(略)</p> <p>(選ばれる産地を目指した技術開発の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者ニーズに適切に対応するため、愛媛ブランド牛や新たな養殖魚種などのブランド産品や柑橘王国の維持・発展につながる新品種の開発に取り組むとともに、新品種に対応した生産技術の開発・実用化を進め、高品質で付加価値の高い農林水産物の生産拡大を図るほか、地域資源の新たな利用方法や食材の機能性を研究するなど、新しいビジネスチャンスを生み出す試験研究を進め、県内事業者による事業化・製品化を支援する。 ・ <u>水稻の新品種開発や果菜類の先導的な栽培管理技術を開発するため、農林水産研究所の設備機能を強化する。</u> ・ 果樹研究の中核拠点である果樹研究センターを、新ビジネス創出に必要な機能を備えた施設として整備し、産官学の連携強化により、質の高い品種や技術の開発を行うとともに、県内生産者等へ技術の定着を図る。 ・ <u>地域独自の混合飼料の開発・普及による県内畜産農家の生産性向上を図るため、畜産研究センターにTMR調製研究施設を整備する。</u> ・ <u>林業研究センターに、造林・育林・緑化分野の技術革新を図るため、エリートツリー等の優れた品種の研究を行う研究棟を整備するとともに、大型建築物への木材の利用拡大を図るため、CLT研究施設を整備する。</u> 	<p>第2 目指すべき将来の方向性と具体的な施策</p> <p>1 基本目標① 地域に働く場所をつくる・人を呼び込む</p> <p>(1) 産業力の強化と成長産業の育成</p> <p>①～⑥ (略)</p> <p>⑦ 農林水産業の成長産業化に向けた支援</p> <p>《取組みの方向性》</p> <p>(略)</p> <p>《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》</p> <p>(力強い農林水産業を支える担い手の確保)</p> <p>(略)</p> <p>(選ばれる産地を目指した技術開発の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者ニーズに適切に対応するため、愛媛ブランド牛や新たな養殖魚種などのブランド産品や柑橘王国の維持・発展につながる新品種の開発に取り組むとともに、新品種に対応した生産技術の開発・実用化を進め、高品質で付加価値の高い農林水産物の生産拡大を図るほか、地域資源の新たな利用方法や食材の機能性を研究するなど、新しいビジネスチャンスを生み出す試験研究を進め、県内事業者による事業化・製品化を支援する。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>果樹研究の中核拠点である県果樹研究センターを、新ビジネス創出に必要な機能を備えた施設として整備し、産官学の連携強化により、質の高い品種や技術の開発を行うとともに、県内生産者等へ技術の定着を図る。</u> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>造林・育林・緑化分野の技術革新を図るため、エリートツリー等の優れた品種の研究を行う研究棟を県林業研究センターに新設する。</u>